

決算および業績・配当予想ダイジェスト

2024年度第3四半期決算

減収・減益 (2021年度以来3年ぶり)

- 売上高は、燃料価格の低下による燃料費調整額の減少など
- 経常利益は、燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の減少などから減益

2024年度業績予想および配当予想

2024年4月公表時から変更

売上高 2兆6,300億円

- 燃料価格の低下による燃料費調整額の減少、卸売販売電力量の減少に伴う他社販売電力料の減少など

経常利益 2,000億円

- 燃料価格が低位に推移し、燃料費調整制度のタイムラグ影響が差損から差益に改善、燃料調達工夫などの効率化の深掘りなど

配当予想 中間 (実績) 15円・期末 (予想) 20円

➤売上高 1兆9,204億円（前年同期に比べ1,358億円の減）

…燃料価格の低下による燃料費調整額の減少など。

➤経常利益 1,835億円（前年同期に比べ953億円の減）

…燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の減少などから減益。

➤親会社株主に帰属する四半期純利益

1,279億円（前年同期に比べ683億円の減）

【連結決算の概要】

（単位：億円）

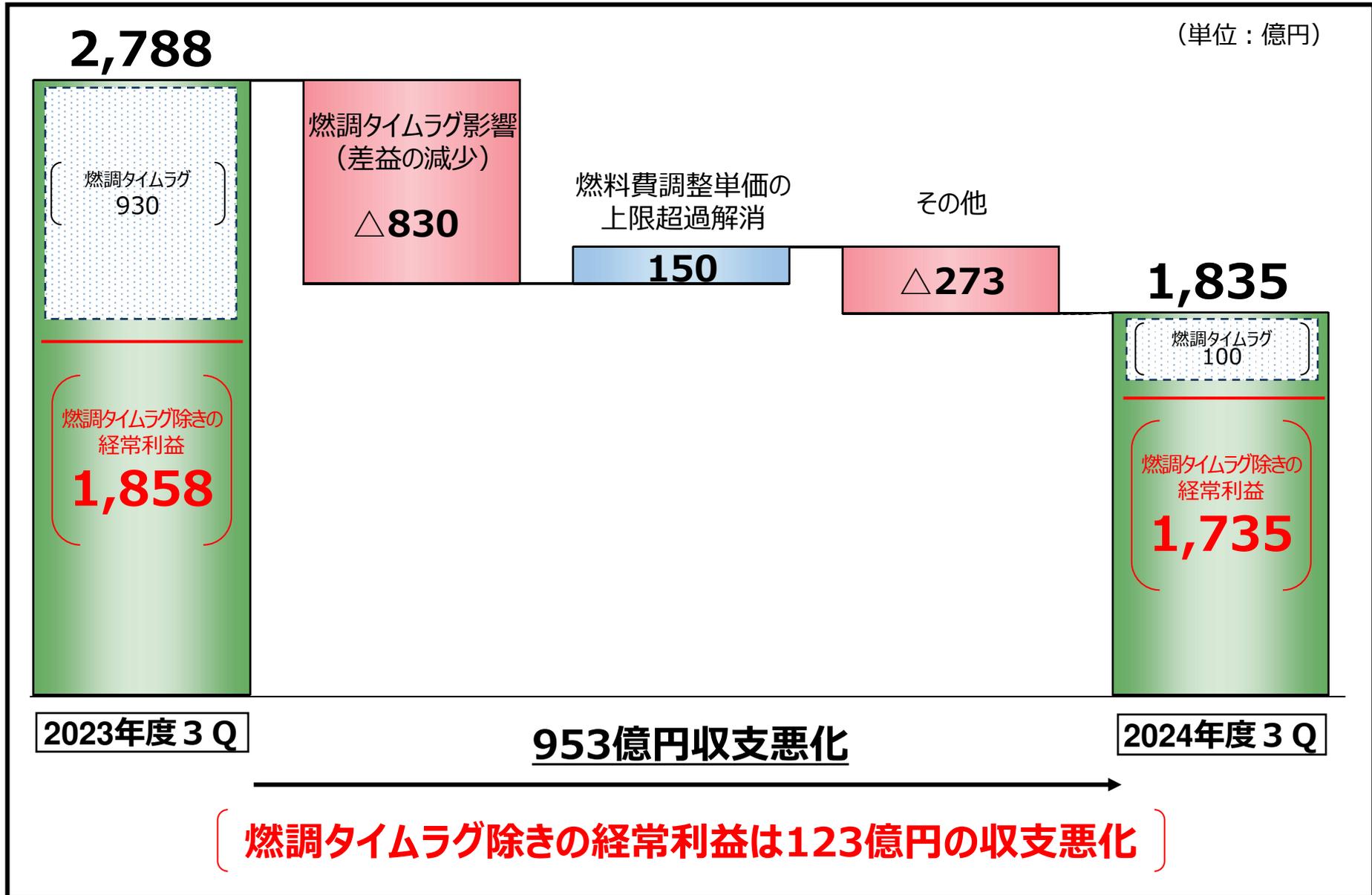
	2023年度3Q (A)	2024年度3Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
売上高	20,563	19,204	△1,358	93.4 %
経常利益※	2,788 [1,858]	1,835 [1,735]	△ 953 [△ 123]	65.8 % [93.3 %]
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,963	1,279	△ 683	65.2 %

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

連結経常利益の前年同期からの変動要因

3

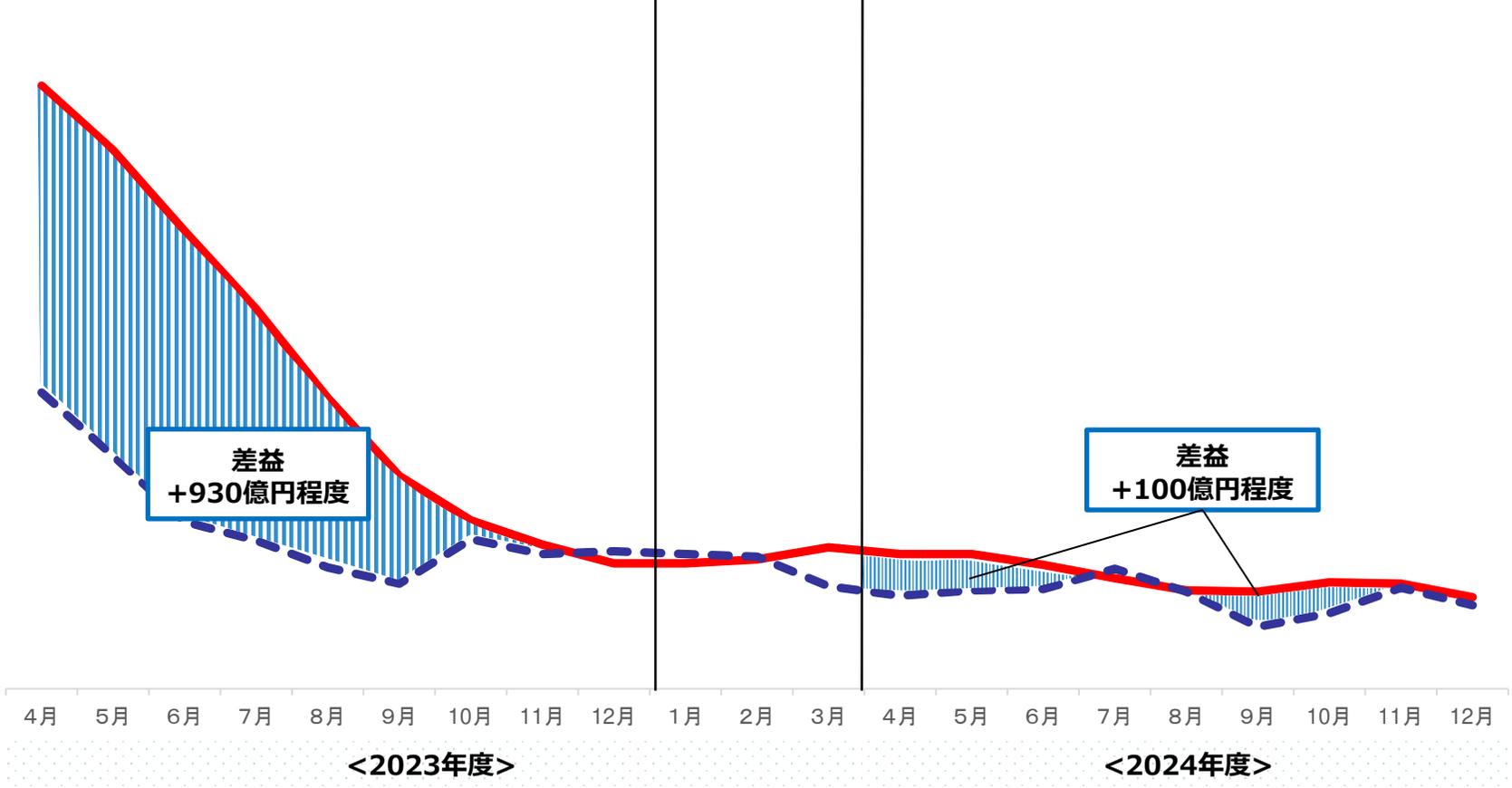
変動額 Δ 953億円 (2,788億円 \rightarrow 1,835億円)



(参考) 燃料費調整制度のタイムラグ影響

➤ 前年同期の燃料費調整制度のタイムラグ影響はプラス930億円（差益）だったのに対し、当期はプラス100億円（差益）となり、**差引でマイナス830億円の収支悪化**となった。

前年同期に比べ**830億円程度**の収支悪化



— 平均燃料価格（燃料費調整単価として電気料金に反映）
- - 輸入燃料価格

電力販売実績・主要諸元

➤ **小売** (電灯・電力) **434億kWh (前年同期に比べ28億kWhの減)**

…冷房需要の減少、競争進展に伴う契約切替による減少など。

➤ **卸売** **125億kWh (前年同期に比べ23億kWhの増)**

…卸電力市場取引の増加など。

【電力販売実績】

(単位：百万kWh)

【販売実績】※1	2023年度3Q (A)	2024年度3Q (B)	増減 (B) - (A)	前年同期比 (B) / (A)
電灯	13,172	12,772	△ 400	97.0 %
電力	32,991	30,585	△ 2,406	92.7 %
小売※2計	46,163	43,356	△ 2,807	93.9 %
卸売※3	10,199	12,452	2,253	122.1 %
販売計	56,362	55,809	△ 553	99.0 %

※1 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

※2 「小売」は、事業用電力量を含む。

※3 「卸売」は、特定融通等を含む。

【主要諸元】

	2023年度3Q (A)	2024年度3Q (B)	増減 (B) - (A)
原油C I F価格 (\$ / b b l)	86.6	83.7	△ 2.9
為替レート (円 / \$)	143	153	10
出水率 (%)	85.1	83.0	△ 2.1
原子力設備利用率 (%)	-	3.3	3.3

セグメント情報（連結）

6

（単位：億円）

	2023年度3Q (A)		2024年度3Q (B)		増減 (B) - (A)		主な増減要因
	売上高 ^{※1}	経常利益	売上高 ^{※1}	経常利益	売上高 ^{※1}	経常利益	
発電・販売	16,690	2,305	15,346	1,822	△ 1,344	△ 482	<ul style="list-style-type: none"> 燃料価格の低下による燃料費調整額の影響などにより減収 燃料費調整制度のタイムラグ影響による差益の減少などにより減益
	15,839		14,472		△ 1,367		
送配電	6,200	481	6,374	119	174	△ 362	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー電気卸供給の増加などにより増収 調整力確保などに係る調達費用の増加などにより減益
	2,754		3,146		392		
その他 ^{※2}	3,785	140	3,135	181	△ 649	41	<ul style="list-style-type: none"> 建設業において、株式会社ユアテックが連結子会社から持分法適用会社に変更となり、売上高・経常利益が減少したものの、関係会社向け火力関連工事の増加などにより減収増益
	1,969		1,585		△ 383		
小計	26,676	2,927	24,856	2,123	△ 1,819	△ 803	
調整額	△ 6,113	△ 138	△ 5,652	△ 288	460	△ 150	
連結値	20,563	2,788	19,204	1,835	△ 1,358	△ 953	

※1 売上高の下端は、外部顧客に対する売上高。

※2 当社は、連結子会社である株式会社ユアテックの株式の一部について、同社が実施した自己株式の買付けに応募し、2024年11月6日に譲渡いたしました。本譲渡に伴い、同社は当社の連結子会社から持分法適用会社に変更となりました。これにより、従来、「建設業」として記載していた売上高・経常利益について、今後は「その他」に含めて記載いたします。

財政状態（連結）

7

(単位：億円)

	2023年度末 (A)	2024年度3Q末 (B)	増減 (B) - (A)	主な増減内容
総資産	53,887	54,045	158	
固定資産	41,863	42,249	386	電気事業固定資産 4,809 固定資産仮勘定 △4,162 外
流動資産	12,023	11,795	△ 227	諸未収入金 △452 現金及び預金 310 外
負債	44,776	44,379	△ 396	
固定負債	33,199	32,728	△ 471	退職給付に係る負債 △171 外
流動負債	11,577	11,651	74	
純資産	9,110	9,665	555	親会社株主に帰属する四半期純利益 1,279 非支配株主持分 △600 外
有利子負債残高	32,909	33,930	1,020	社債 830、長期借入金 280 外
自己資本比率	15.4% (18.0%※)	17.5% (20.0%※)	2.1% (2.0%※)	

※ 発行済のハイブリッド社債のうち、発行額の50%(1,400億円)を自己資本とした場合の自己資本比率。

2024年度 業績予想および配当予想

8

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益※	親会社株主に帰属する当期純利益
通 期	26,300	2,300	2,000 [1,900]	1,400

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

■ 中間配当・期末配当予想

- ▶ 当年度においては、2024年12月26日に女川原子力発電所2号機が営業運転再開を果たし、安定的に運転を継続している状況であることに加え、2024年度の業績について、当初想定を上回る見通しであり、当社の最優先課題である「財務基盤の早期回復」についても着実に進捗しております。
- ▶ このような状況を総合的に勘案し、2024年度の期末配当予想につきましては、当初予定の「1株当たり15円」から5円増配し、「1株当たり20円(中間配当15円と合わせた年間配当は35円)」に修正することといたしました。

(単位：円)

	中 間	期 末 (予想)	年 間 (予想)
前回発表予想		15	30
今回修正予想		20	35
当 期 実 績	15		

2024年度 業績予想 (1)

➤ 売上高 2兆6,300億円 (前回予想に比べ2,000億円の減)

…燃料価格の低下による燃料費調整額の減少、卸売販売電力量の減少に伴う他社販売電力料の減少など。

➤ 経常利益 2,000億円 (前回予想に比べ100億円の増)

…燃料価格が低位に推移し、燃料費調整制度のタイムラグ影響が差損から差益に改善、効率化の深掘りなど。

連結業績予想

(単位：億円)

	前回発表予想 (2024年4月) (A)	今回発表予想 (B)	増 減 (B) - (A)	2023年度実績
売上高	28,300	26,300	△ 2,000	28,178
営業利益	2,200	2,300	100	3,222
経常利益*	1,900 [2,000]	2,000 [1,900]	100 [△100]	2,919 [1,979]
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,300	1,400	100	2,261

※ []内は、燃料費調整制度のタイムラグ影響除きの値。

主要諸元

	前回発表予想 (2024年4月)	今回発表予想	2023年度 実績
販売電力量* (億kWh)	小売	613 程度	608 程度
	卸売	214 程度	179 程度
	合計	827 程度	787 程度
原油CIF価格 (\$/bbl)	90 程度	83 程度	86
為替レート (円/\$)	150 程度	153 程度	145
原子力設備利用率 (%)	14.8 程度	9.8 程度	-

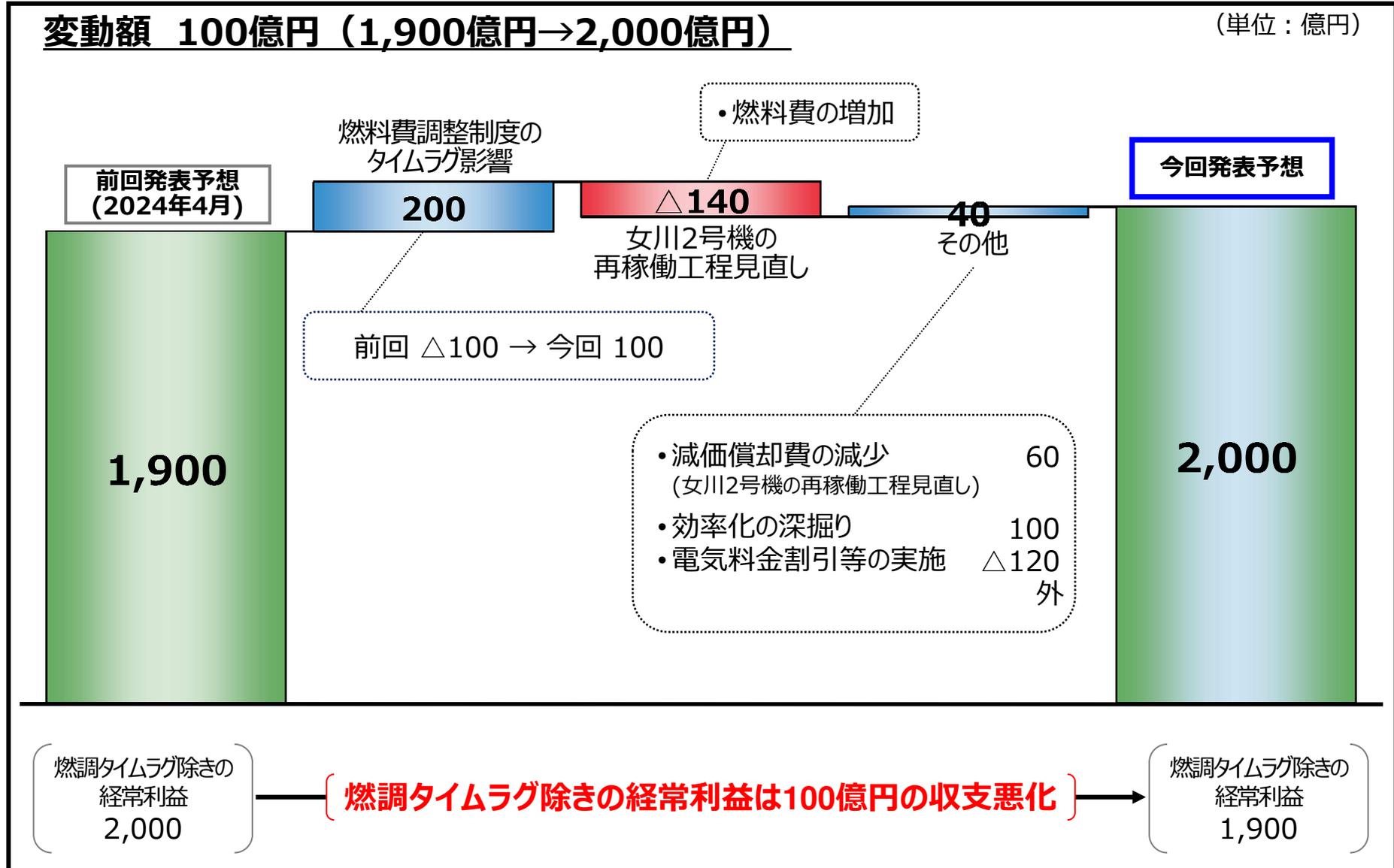
※ 東北電力個社値であり、送配電事業を除く。

収支変動影響額

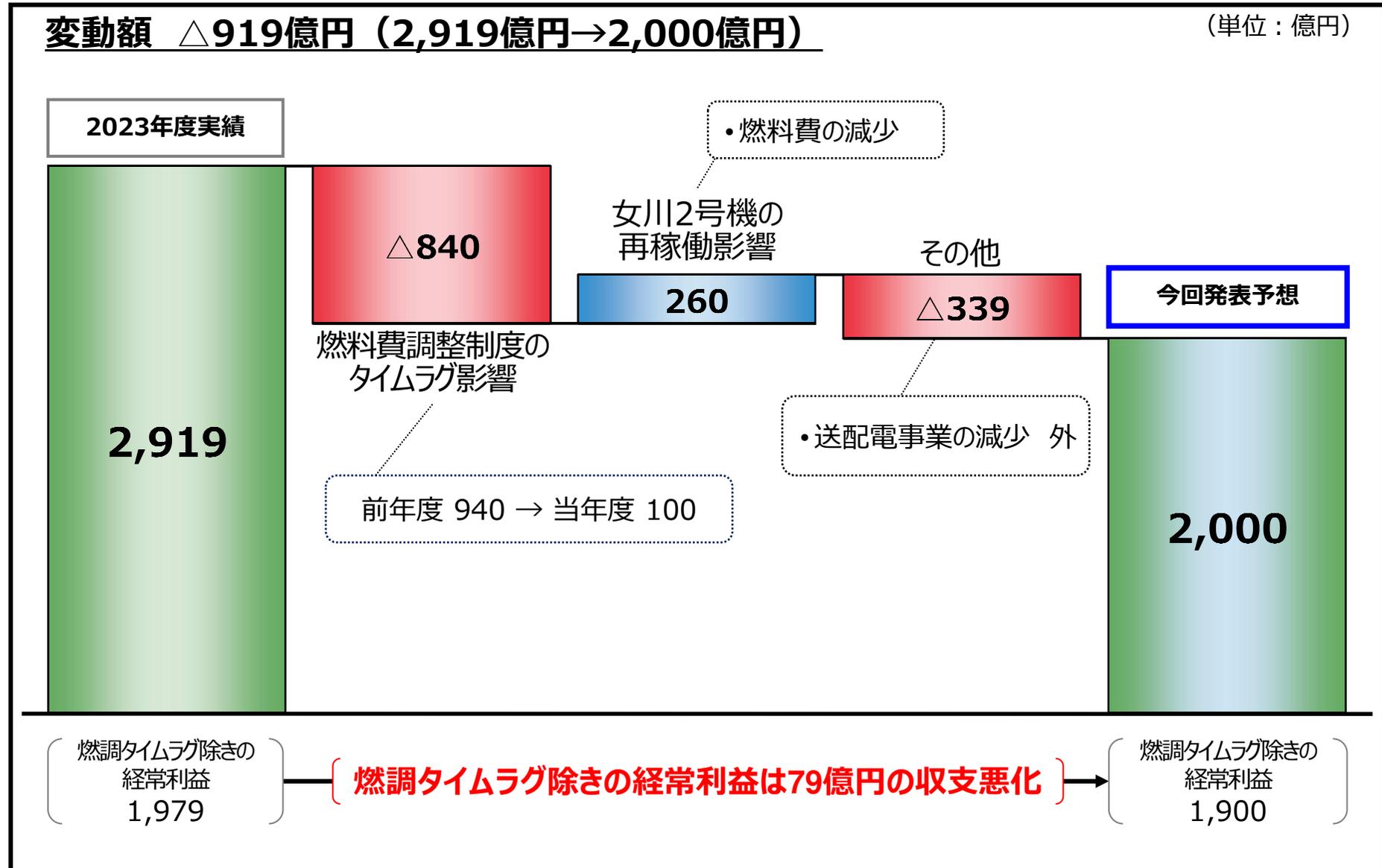
(単位：億円)

原油CIF価格(1\$/bbl)	21 程度
為替レート(1円/\$)	34 程度
原子力設備利用率(1%)	28 程度

■ 連結経常利益の変動要因 (前回予想との比較)

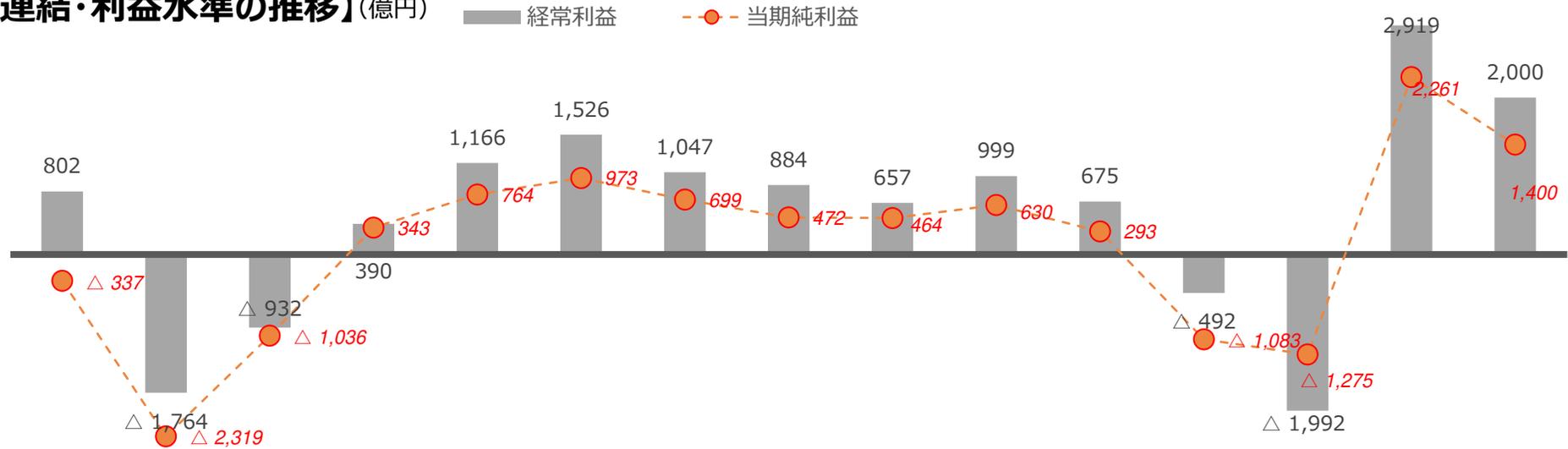


■ 連結経常利益の変動要因 (前年度実績との比較)



2024年度 業績予想 (4)

【連結・利益水準の推移】(億円)



【連結・財政状態の推移】(億円, %)

